



## トランザクション ログ形式

トランザクション ログ機能をして、Wide Area Application Service (WAAS) デバイスの個々の TCP トランザクションをログに記録できます。トランザクション ログ機能の設定については、「[トランザクション ログ機能の設定](#)」(P.16-68) を参照してください。

TFO トランザクション ログは、ディレクトリ /local1/logs/tfo のローカル ディスクに維持されます。次のように、異なるテンプレートを持つ複数の種類のトランザクション ログ メッセージが存在します。

- 最適化されたフロー開始メッセージ：  
Time\_Stamp、Conn\_ID、Src\_IP、Src\_Port、Dst\_IP、Dst\_Port、OT、Log\_type、Conn\_type、Peer\_ID、App\_map\_name、App\_name、App\_classifier\_name、Flag\_directed\_mode、TFO\_cfgd\_policy、TFO\_drvd\_policy、TFO\_peer\_policy、TFO\_neg\_policy、TFO\_applied\_policy、TFO\_reject\_reason、AO\_cfgd\_policy、AO\_drvd\_policy、AO\_neg\_policy、AO\_reject\_reason、SSL\_reject\_reason、DSCP、Link\_rtt
- 最適化されたフロー終了メッセージ：  
Time\_Stamp、Conn\_ID、Src\_IP、Src\_Port、Dst\_IP、Dst\_Port、OT、Log\_type、Conn\_type、AO\_neg\_policy、Original\_bytes\_read、Original\_bytes\_written、Optimized\_bytes\_read、Optimized\_bytes\_written
- パススルー フロー メッセージ：  
Time\_Stamp、Src\_IP、Src\_Port、Dst\_IP、Dst\_Port、BP、Bypass\_Reason、TFO\_cfgd\_policy、TFO\_drvd\_policy、TFO\_peer\_policy、TFO\_reject\_reason、AO\_cfgd\_policy、AO\_drvd\_policy、AO\_reject\_reason
- 最適化されたフロー TFO 終了メッセージ：  
Time\_Stamp、Conn\_ID、Src\_IP、Src\_Port、Dst\_IP、Dst\_Port、SODRE、END、Original\_bytes\_read、Original\_bytes\_written、Optimized\_bytes\_read、Optimized\_bytes\_written、Conn\_close\_state
- システム リスタート メッセージ：  
Time\_Stamp :0 :0 :0 :0 :0 :RESTART

表 B-1 で、トランザクション ログ メッセージにあるフィールドについて説明します。

表 B-1 トランザクション ログ フィールドの説明

フィールド	説明
Time_Stamp	ログ メッセージがいつ生成されたのかを示すタイム スタンプ。
Conn_ID	接続の一意の識別子。
Src_IP、Src_Port	接続元 IP アドレスとポート番号。

表 B-1 トランザクション ログ フィールドの説明 (続き)

フィールド	説明
Dst_IP、Dst_Port	接続先 IP アドレスとポート番号。
OT	最適化された接続を示します。
BP	パススルー接続を示します。
SODRE	TFO によって生成されたログ メッセージを示します。
Log_type	START または END はフローの開始または終了を示します。
Conn_type	接続の種類： INTERNAL CLIENT : WAE からローカルで開始された接続 EXTERNAL CLIENT : WAE がブランチ デバイスとして動作する接続 INTERNAL SERVER : WAE でローカルで終了した接続 EXTERNAL SERVER : WAE がデータセンター デバイスとして動作する接続。
Peer_ID	ピア WAE のデバイス ID。
App_map_name	マップの名前。
App_classifier_name	分類子の名前。
App_name	アプリケーションの名前。
Flag_directed_mode	T (true) は Directed モード接続を示し、F (false) はそれ以外の接続を示します。
TFO_cfgd_policy	ローカル デバイス上の TFO により設定されたポリシー。
TFO_drvd_policy	設定された条件とダイナミック条件に基づく、ローカル デバイス上の TFO により派生されたポリシー。このポリシーは、ピア WAE とネゴシエートするために使用されます。
TFO_peer_policy	ローカル デバイスに送信された、ピア上の TFO により派生されたポリシー。
TFO_neg_policy	TFO によりネゴシエートされたポリシー。このポリシーは、派生されたポリシーとピア ポリシー間で最も一般的でないポリシーです。
TFO_applied_policy	接続に適用される最後のポリシー。接続の確立後に、接続のデータに基づいて接続に対してポリシーの変更が行われ、その結果、適用されたポリシーがネゴシエートされたポリシーと異なる場合があります。
TFO_reject_reason	拒否された接続の理由を示します。「None」は拒否理由が設定されていないことを示します。
AO_cfgd_policy	ローカル デバイスで設定されたアプリケーション アクセラレータ。これは、対応するポリシーで設定されたアクセラレータから派生されます。
AO_drvd_policy	ローカル デバイス上のアプリケーション アクセラレータから派生したポリシー。
AO_neg_policy	アプリケーション アクセラレータによりネゴシエートされたポリシー。このポリシーは、派生されたポリシーとピア ポリシー間で最も一般的でないポリシーです。
AO_reject_reason	接続がアプリケーション アクセラレータにより拒否された理由を示します。「None」は拒否理由が設定されていないことを示します。
SSL_reject_reason	接続が SSL アクセラレータにより拒否された理由を示します。「None」は拒否理由が設定されていないことを示します。
DSCP	送信接続で設定された DiffServ コード ポイント値。
Link_rtt	リンクのラウンドトリップ時間 (ミリ秒単位)。

表 B-1 トランザクション ログ フィールドの説明 (続き)

フィールド	説明
Original_bytes_read	元の側の接続で読み取られたバイト数。
Original_bytes_written	元の側の接続で書き込まれたバイト数。
Optimized_bytes_read	最適化された側の接続で読み取られたバイト数。
Optimized_bytes_written	最適化された側の接続で書き込まれたバイト数。
RESTART	WAE がリロードされ、トランザクション ログ プロセスが開始されたことを示します。

トランザクション ログ メッセージの一部の例を次に示します。

### 両側で完全に最適化 (SSL 拒否あり)

```
Fri Jan 30 03:15:41 2009 :43 :2.57.223.130 :4808 :2.57.223.2 :443 :OT :START :EXTERNAL CLIENT
:00.14.5e.95.4c.85 :basic :SSL :HTTPS :F :(TFO) (TFO) (TFO) (TFO) (TFO) (TFO) :<None> :(None) (None) (None) :<None>
:<Keepalive Timeout> :0 :0
Fri Jan 30 03:15:41 2009 :43 :2.57.223.130 :4808 :2.57.223.2 :443 :SODRE :END :0 :0 :0 :0 :0
Fri Jan 30 03:15:41 2009 :43 :2.57.223.130 :4808 :2.57.223.2 :443 :OT :END :EXTERNAL CLIENT :(None) :284 :806
:806 :28
```

### 両側で完全に最適化

```
Mon Feb 2 14:31:21 2009 :16 :2.75.52.131 :4374 :2.75.52.3 :80 :OT :START :EXTERNAL CLIENT :00.14.5e.83.8c.cf
:basic :Web :HTTP :F :(DRE,LZ,TFO) (DRE,LZ,TFO) (DRE,LZ,TFO) (DRE,LZ,TFO) (DRE,LZ,TFO) :<None> :(HTTP) (HTTP)
(HTTP) :<None> :<None> :0 :0
Mon Feb 2 14:31:26 2009 :16 :2.75.52.131 :4374 :2.75.52.3 :80 :SODRE :END :370 :173 :299 :429 :0
Mon Feb 2 14:31:26 2009 :16 :2.75.52.131 :4374 :2.75.52.3 :80 :OT :END :EXTERNAL CLIENT :(HTTP) :0 :0 :299
:429
```

### DRE だけが有効な状態で最適化

```
Mon Feb 2 14:48:31 2009 :27 :2.75.52.131 :4389 :2.75.52.2 :80 :OT :START :EXTERNAL CLIENT :00.14.5e.83.8c.cf
:basic :Web :HTTP :F :(DRE,TFO) (DRE,TFO) (DRE,LZ,TFO) (DRE,TFO) (DRE,TFO) :<None> :(HTTP) (HTTP) (HTTP)
:<None> :<None> :0 :0
Mon Feb 2 14:48:36 2009 :27 :2.75.52.131 :4389 :2.75.52.2 :80 :SODRE :END :246 :468 :636 :405 :0
Mon Feb 2 14:48:36 2009 :27 :2.75.52.131 :4389 :2.75.52.2 :80 :OT :END :EXTERNAL CLIENT :(HTTP) :0 :0 :636
:405
```

### LZ だけが有効な状態で最適化

```
Mon Feb 2 14:39:12 2009 :20 :2.75.52.131 :4379 :2.75.52.3 :80 :OT :START :EXTERNAL CLIENT :00.14.5e.83.8c.cf
:basic :Web :HTTP :F :(LZ,TFO) (LZ,TFO) (DRE,LZ,TFO) (LZ,TFO) (LZ,TFO) :<None> :(HTTP) (HTTP) (HTTP) :<None>
:<None> :0 :0
Mon Feb 2 14:39:17 2009 :20 :2.75.52.131 :4379 :2.75.52.3 :80 :SODRE :END :370 :173 :219 :295 :0
Mon Feb 2 14:39:17 2009 :20 :2.75.52.131 :4379 :2.75.52.3 :80 :OT :END :EXTERNAL CLIENT :(HTTP) :0 :0 :219
:295
```

## DRE と LZ の両方が無効な状態で最適化

```
Mon Feb 2 14:49:36 2009 :28 :2.75.52.131 :4390 :2.75.52.2 :80 :OT :START :EXTERNAL CLIENT :00.14.5e.83.8c.cf
:basic :Web :HTTP :F : (TFO) (TFO) (DRE,LZ,TFO) (TFO) (TFO) :<None> : (HTTP) (HTTP) (HTTP) :<None> :<None> :0
:0
Mon Feb 2 14:49:41 2009 :28 :2.75.52.131 :4390 :2.75.52.2 :80 :OT :END :EXTERNAL CLIENT : (HTTP) :0 :0 :468
:246
```

## パススルー接続

```
Thu Jul 24 03:09:34 2008 :2.75.52.130 :40027 :2.75.52.2 :80 :BP :GLB_CFG : (DRE,LZ,TFO) (None) (None) :<Global
Config> : (HTTP) (None) :<Global Config>
```

## システム リスタート

```
Sun Oct 25 17:46:32 2009 :0 :0 : 0 :0 :0 :RESTART
```